

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (電話) 0993-35-0280
自己評価作成日	令和2年1月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年1月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

弊園は、温暖な指宿市山川大山地区の、住宅街の中にあります。開所以来9年近く経ち、おかげさまで地域の皆様にお世話になりながら、利用者様との楽しい日々を過ごさせていただいております。施設では、1ユニット9名のご利用者様を、『ご本人・ご家族の意向に沿って、安心・安全にゆったりと生活できるよう』、縁あって出会えた方々のこれまでの人生を尊重し、『これからの人生が、より楽しく充実したものに為るよう』心掛けて、職員一同お世話させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は指宿市郊外の静かな住宅地に建てられており、自治会に加入して地域行事に参加したり、避難訓練には近隣住民の自主防災協力隊の参加協力が有る等、地域の一員として良好な関係を築いている。
- ・管理者と職員は、時間を取って利用者の思いや要望をゆっくり聞いたり、自宅付近へのドライブや馴染みの店での買い物、嗜好品の摂取等、一人ひとりのペースやこれまでの生活、習慣を大切にする個別支援に取り組んでいる。
- ・調理担当職員の配置により、ケアの時間確保及び職員の負担軽減が図られている。代表者及び管理者は、介護理念の作成や社内外研修の受講を通して職員の質の確保に努めている。
- ・職員は自己研鑽に努め、研修会にも積極的に参加している。社内合同研修に年4回参加して、スキルアップを図っている。グループホーム協議会等で同業者との交流を通してサービスの質の向上にも取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティング時などで理念の確認を行い、共有と実践に努めている。	法人の介護理念を事務室に掲示し、事業所独自の理念はパンフレットに掲載している。ミーティング時に理念の確認とケアの振り返りを行い、理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事務所は自治会に加入しており、地域の一員である。また、利用者様との散歩や買い物の時など、交流を日常的に行っている。	自治会に加入し、回覧板の広報誌等で地域の情報を得ている。地域の行事に参加したり、駅伝の応援にも出かけている。野菜の差し入れや散歩の挨拶等で日常的に交流し地域の一員としての近所付き合いをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の方々からの相談事には、親身になって対応し、協力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催している。利用者様の状況や活動の報告を行い、参加者から地域の情報や提言を頂いている。それを、地域との交流や利用者様への支援に活かしている。	2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、事業所の状況やヒヤリハット、事故報告等を行い、意見交換をしている。事業所の取り組み等への理解を得る機会でもあり、得られた地域の情報や状況等を事業所サービスに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>ご家族や地域の方々からの相談事や、事業所の取り組み・支援の方法など、細かな事までアドバイスを頂いている。</p>	<p>市の担当者とは、運営推進会議時に意見交換を行ったり、日頃から電話や出向いて報告・相談を細かに行って協力関係を築くように努めており、生活保護担当者とも同様に連携を図っている。市の研修会に参加し、情報交換して協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を開催し、定期的な会議・勉強会を行っている。身体の動きを抑制するような拘束の実施はない。玄関は、夜間の防犯目的の施錠のみである。</p>	<p>指針があり、委員会を2ヶ月に1回、研修会を年2回実施している。不適切な言葉遣いは管理者から注意を促している。玄関の施錠はせず敷地内の散歩に同行する等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>打撲や打ち身などは、発見者が記録に残し、皆で原因究明や再発防止の検討をしている。困難事例については、職員間で対応を協議し、ケアの統一を図っている。管理者は職員に積極的に研修会への参加を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>市の担当者や関係機関と連携を取り、相談してアドバイスを頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に重要事項説明書をお渡しして、内容の説明を行っている。契約の解約・改定等変更ある時は、十分に説明を行い納得して頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会や連絡時などに、職員は報告だけでなく、要望やご意見も伺うよう努めている。利用者様からの要望やご意見も、日常のコミュニケーションの中で伺っている。</p>	<p>利用者からは日常の会話の中で希望や思いを聞いている。家族からは行事参加時や面会時に要望等を聞き、月1回便りも出している。嗜好品の摂取や受診への職員同行等、出された要望はその都度検討し対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝夕の申し送りや昼休みのお茶時に、職員・管理者が気軽に問題提起し合い、話し合って運営に反映している。毎月のミーティングでも、丁寧な意見交換を行っている。</p>	<p>職員の意見や提案はミーティングや毎日の昼休み等、ゆっくりとした時間に聞いている。提案を受け、そうめん流し器や電気不使用の加湿器を購入する等、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者が、職員のミーティングに参加して、意見や質問に答える機会を作るなど、職場環境・労働条件の改善・向上を考えてくれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者が管理者と相談し、ケアの力量や研修内容に合わせて、研修の機会を確保している。年4回、社内で合同研修会を開催している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県、さつま半島・指宿地区のGH協議会に属し、交流を通して学びや気づきを頂き、向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>職員は、利用者様の生活歴や既往歴など把握した上で、本人の話を傾聴し、笑顔で穏やかに対応する事で、安心して頂けるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申込みの時から、ご家族の相談に親身になって対応し、入所後も細かく要望を伺い支援を行うことで、信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族と面接してお話を伺い、主治医の診断書や介護サマリー等の情報も併せ、必要と思われる支援を提供している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様とのコミュニケーションを重ねる中で、理解し合えるように努め、共に生活を楽しむ関係を築けるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族は、利用者様にとって一番身近で大切な存在である。利用者様をより深く理解していく為にも、職員は毎月の状況をお手紙で知らせたり、面会時には積極的に会話して、信頼関係を築けるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけ医の継続や、馴染みの美容師をお願いしたり、昔の仕事場のイベントに参加するなど、関係の継続を出来るだけ支援できるよう努めている。	家族や兄弟・友人・知人の面会の際は居室やホールでお茶を出してゆっくりして貰っている。自宅付近へのドライブや馴染みの美容室、店の利用に同行したり、電話取り次ぎ等を支援し、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の性格と相性もあり、デリケートな部分が多いが、職員が間に入り共通の話題やレクリエーションを行うことで、孤立しない支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のお見舞いや葬儀への参列等、関係を断ち切ることなく、必要に応じて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	心がけて会話する時間を作り、本人の要望や不安・不満などを把握するよう、また困難な要望にも丁寧に対応するよう努めている。	日常の会話の中で本人の思いを把握するように努めている。難聴や意思疎通困難な利用者には、ゆっくり話を聞く時間を取っており、家族の情報を参考にしながら本人の表情等から推測することもあり、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人との会話やご家族のお話の中から、細かな情報も収集するよう努めている。大事な情報は記録して、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常の支援の中で、必要に応じて検討・協議し、変化や状態の把握に努めている。朝夕の申し送り時やミーティングなどで、情報の共有を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の介護の中で得た情報やアイデア、ご家族からの情報・要望など、職員間で共有し検討して、計画を作成している。	家族の面会時に本人・家族・職員・管理者で担当者会議を実施し検討している。モニタリングは3ヶ月に1回行い、6ヶ月毎及び状況変化時に介護計画を見直し、現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録と介護日誌は、すぐ手に取れる場所に置いてあり、いつでも情報の共有・確認が出来る。共有した情報を、ケアの計画・実践・見直しに役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自宅や友人宅訪問・墓参り時等の送迎や付き添い、空き家となって荒廃した自宅の環境整備など、個別支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事（六月灯・十五夜の網かき行列・神社大祭の巡行など）への参加・見学など、本人のこれまでの暮らしの中で大切にしていた物を、続けて楽しめるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族の希望に沿った、“かかりつけ医”の継続を支援している。受診時は職員が付き添い、普段の様子や変化などを伝えている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しており、他科受診も職員が対応し、結果を家族に報告している。かかりつけ医の往診が2週間に1回ある。定期受診は毎月の便りで報告している。事業所の看護師による健康管理を行い、適切な支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者様を常日頃から細かく観察し、小さな変化にもいち早く気づき、看護師やケアマネと連携を取り合って支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者様の入院時には情報提供を口頭や文書にて行い、入院中は病状や見通しについての情報把握に努め、退院時は主治医の指示や看護要約を頂く等、連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、重度化された時の意向をご家族に伺っている。ターミナルケアについては、必要時に相談を行っている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について選択肢も含めて説明し、同意書をもっている。状況変化時に管理者も同席して医師の説明を聞き、家族の意向を確認している。医療行為が必要な時は医療機関へ、状況次第では特別養護老人ホームの選択肢もあることを伝えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的ではないが、緊急連絡網の確認や救急対応時の訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害別のマニュアルを作成し、緊急時にスムーズに動けるように訓練している。地域の自主防災協力隊の方々との訓練も、年1回行っている。</p>	<p>消防署の立ち会いで、年2回の避難訓練を昼夜想定で実施している。1回は、近隣住民で組織している地域の自主防災協力隊の参加がある。防災設備は業者が定期的に点検しており、備蓄は水、米、ラーメン、乾パン、缶詰、カセットコンロ等がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様一人一人、その方に合った言葉遣い、尊重した言葉遣いに努めている。 また、居室・浴室・トイレなどドアを閉めて、プライバシーの確保にも気を付けている。	定期的な接遇研修を同系列の事業所全体で行っている。言葉かけはやさしく、さん付けでの呼びかけや排泄介助時の声かけ、申し送り時は名前を出さない、記録の取り扱い等に気配りして誇りやプライバシーを損ねないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ケアマネや担当の職員を中心に本人の思いや希望を引き出せるよう、意識して会話している。そして、出来るだけ本人の自己決定を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	『いつでも自由に』『家で過ごしている気持で』との思いで支援している。起・臥床、入浴や外出など、出来るだけ希望に沿えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類・化粧品の購入や白髪染め・パーマの希望など、その方の思いやこだわりを大切にして、清潔な身だしなみを支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の食材を活用し、下ごしらえや片付けなどを手伝っていただいている。食事は職員も一緒に摂り、会話しながら楽しい雰囲気です。召し上がっていただいている。	調理担当職員がおり、旬のものを個々の嗜好や形態に合わせて提供し、下ごしらえや下膳など利用者も一緒に行っている。行事食や誕生日には好物やケーキ・花見弁当・そうめん流し・バーベキュー等、食事を楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューを基に、一人ひとりの摂取量・必要量を考慮して、不足分は補助食品なども取り入れている。水分も、様々な飲み物・果物などを提供し、必要量を確保出来るよう工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に、歯磨き・うがいを行っていただき、出来ない方は職員が支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンを把握して、本人から訴えない時は、職員が声掛けしてトイレに付き添い、必要に応じて見守り・介助して、自立に向け支援している。	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンを把握しており、声掛けや誘導・見守りを行って日中はトイレでの排泄を支援している。夜間は、利用者の負担を軽減する為、身体状況等に応じてポータブルトイレやオムツも使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師を中心に、排便確認と下剤調整の情報共有を行い、便秘の改善や原因究明に努めている。お茶時は芋類を取り入れ、散歩に出掛け、水分量確保にも努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	声掛けやタイミングを工夫したり、拒否が続く時は、足浴や陰部洗浄の支援に変えるなどして、不快感が生じないように、又気分転換が出来るように努めている。	週2回午前中の中の入浴を基本に、希望での入浴や清拭、失禁時のシャワー浴等を実施し、2人介助も行い、安全で気持ち良く過ごせるようにしている。入浴を拒む場合は、人や時間を変えて声掛けしたり、無理強いせず翌日に入浴を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自室での休息希望にはいつでも対応し、フロアのソファーや畳でも自由に寛いでいただける。夜間の不眠時には、話し相手をしたり付き添う事で、安心出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別記録簿に、それぞれの内服説明書を添付して、情報を共有している。看護師が内服の管理を行い、確実な服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し・たたみや、掃除・食事の下ごしらえの手伝い、花植えや草取りへの参加などは、役割があるという張り合いになっている方もいる。日々の散歩でも気分転換になると喜ばれ、個々の誕生会や季節の行事ごと、買い物や外食など喜びや楽しみを支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気分転換の外気浴は、悪天候でないかぎり支援している。買い物や外食も、本人やご家族と相談して、希望が叶うよう支援している。	日常的に、外気浴を行ったり、敷地内や近隣の散歩をしている。計画を立てて、花見や遠足・そうめん流しに出かけたり、買い物や外食等の個別支援にも対応している。家族と一緒に外食やドライブに出かける利用者もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布のに入った手提げ袋を大切に持っておられる方は、置き場所を決めて、買い物を楽しみにしている方は、その都度支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	県外在住の子供さんに手紙を出される方、贈り物へのお礼状を書かれる方など、その都度支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フローア-は天井が高く開放感がある。季節の飾り付けや行事写真などの設営を行い、浴室・トイレなどは解るように貼り紙をしている。空調に気を付けて、毎日空気の入換えをしている。	共用空間は天井が高く、掃き出し窓からテラスに出られ、明るく開放感がある。窓からの眺めや季節の作品等で季節を感じられる。天窓を開けて空気の入換えを行ったり、温度・湿度に配慮している。テーブルの配置と座席を工夫し、ソファ等も利用して居心地良く過ごせるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フローアのテーブルの位置や座る場所も、利用者様が心地よく過ごせるよう、利用者様同士の関係性をポイントに、工夫・検討している。ひとりになれる所も、ソファ-やベンチを置いて配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	位牌を置いたり、椅子や洋服掛けを置いたりなど、その他ベッドや家具類についても、希望に合わせて配置している。	ベッド・エアコン・タンスが設置されており、使い慣れた洋服掛けやラジオ・時計・鏡を置いたり、位牌や写真・加湿器等で居心地よく過ごせる部屋作りをしている。掃き出し窓は災害時の避難路として訓練時も使用している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ADLや認知度の変化に応じて居室の変更を行っている。トイレや部屋の入口に、名前や飾りを付けることで、迷って不安になったり、他者に迷惑を掛けないように、本人と一緒に工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない